

名手たちの交響楽団ニューイヤーコンサート

ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ

Virtuoso Symphony Orchestra Concert

第14回兵庫公演

日本を代表するオーケストラのコンサートマスターや首席奏者など
トップクラスの演奏家が集結 “日本最高の演奏家たちによる夢のオーケストラ”
今、もっとも勢いのあるピアニスト「亀井 聖矢」が初共演！



©Yuji Ueno

【ピアノ】
亀井聖矢



©Rowland Kirishima

【指揮】
大友直人



【プレトーク】
三枝成彰

Program

M. グリムカ：歌劇「ルスランとリェドミラ」序曲

L.v. ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 「皇帝」作品73〈ピアノ：亀井聖矢〉

P.I. チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 作品64

【管弦楽】 ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ 企画構成／三枝成彰、大友直人

※都合により出演者、曲目等が変更になる場合があります。

2026 **1/4** [日] 開演4:30PM (開場3:30PM)

プレトーク (三枝 成彰) 4:00PM

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 D席1,000円(税込・全席指定)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ／JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

発売日／2025年10月10日

チケット取り扱い／芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM～5:00PM
月曜休み※祝日の場合翌日]

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> (Pコード：309-760) ●イープラス <https://eplus.jp/>

主催／株式会社メイ・コーポレーション

後援／兵庫県、兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、神戸経済同友会、兵庫県経営者協会、兵庫県商工会議所連合会、
神戸商工会議所、西宮商工会議所、兵庫県私学総連合会

※未就学児はご入場いただけません。※公演中止の場合を除き、チケット代金の払い戻しはできません。

お問い合わせ／メイ・コーポレーション 03-3584-1951 (10:00AM～6:00PM)

日本最高の演奏家たちによる夢のオーケストラ

日本の各オーケストラから、コンサートマスターや首席奏者など日本を代表する名手＝「ヴィルトゥオーゾ」たちが集結したら、果たしてどんなオーケストラになるだろうか。日本のオーケストラが今どれだけの音を創りだせるかという可能性を求めて、作曲家 三枝 成彰と指揮者 大友 直人が、1991年に試演、さらに1992年に第1回目の本格的な公演をスタート。これまでに東京・大阪・名古屋、他に横須賀・鎌倉でも開催してきました。

兵庫では2013年より毎年1月4日に「ニューイヤーコンサート」として開催。今回で14回目となる兵庫県ニューイヤーコンサートは、今最も勢いのあるピアニスト「亀井 聖矢」をゲストにお迎えし、「ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ」との初共演が実現します。



大友 直人 [指揮] Naoto Otomo

桐朋学園在学中に22才でNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている日本を代表する指揮者のひとり。日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督、瀬戸フィルハーモニー交響楽団ミュージックアドバイザー。ロイヤルストックホルム管弦楽団、フランス国立ロレーヌ管弦楽団、インディアナポリス響、コロラド響等に度々招かれており、ハワイ響には旧ホノルル響時代から20年以上にわたり定期的に招かれている。東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、数々の自主制作の企画を成功に導いた。国際音楽セミナーMMCJを2001年に指揮者のアラン・ギルバートとスタートさせ、共に創立音楽監督を務める。小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはW・サヴァリッシュ、G・ヴァント、F・ライトナー、H・プロムシュテット、H・シュタインらに学び、タングルウッドミュージックセンターではL・バーンスタイン、A・プレヴィン、I・マルケヴィチからも指導を受けた。大阪芸術大学教授、東邦音楽大学特任教授、京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。



三枝 成彰 [プレトーク] Shigeaki Saegusa

作曲家／日本作編曲家協会副理事長／日本交響楽振興財団理事／渡辺音楽文化フォーラム理事／服部真二 文化・スポーツ財団評議員
東京音楽大学名誉教授

作曲家。東京藝術大学卒業、同大学院修了。代表作にオペラ「忠臣蔵」、オラトリオ「ヤマトタケル」、映画「優駿」、「機動戦士ガンダム～逆襲のシャア」、NHK大河ドラマ「太平記」、「花の乱」。1989年に日本アカデミー賞映画音楽部門最優秀音楽賞。2004年、プッチーニの「蝶々夫人」を下敷きにした新作オペラ「Jr.バタフライ」を世界初演(2005年に神戸で再演)。同作品は2006年にイタリアのプッチーニ・フェスティバルでも再演され、話題を呼んだ。2007年に紫綬褒章を受章。2008年に日本人初となるプッチーニ国際賞、2011年に渡辺晋賞をそれぞれ受賞した。2013年、オペラ「KAMIKAZE―神風―」を初演。2014年、オペラ「Jr.バタフライ」イタリア語版をイタリアのプッチーニ音楽祭で初演(2016年に日本で初演)。2017年、林真理子台本・秋元康演出・千住博美術による新作オペラ「狂おしき真夏の一日」を世界初演。同年、旭日小綬章を受章。2020年11月、文化功労者顕彰を受ける。2022年、「80歳コンサート」と銘打ち、新作「ピアノ協奏曲」と「最後の手紙」混声合唱版を初演。2023年2月には、男声合唱と管弦楽のための最新作「愛の手紙～恋文」を初演。現在、最新作「ヴァイオリン協奏曲」(服部百音委嘱作品)を作曲中、2027年に初演予定。2000年に兵庫県文化賞を受賞、2006年には兵庫県功労者表彰を受ける。



亀井 聖矢 [ピアノ] Masaya Kamei

2022年、ロン＝ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。2025年、エリザベート王妃国際コンクールにて第5位を受賞。2019年、第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、及び聴衆賞受賞。同年、第43回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。2023年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞を受賞。ラ・ロック＝ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル、ヴィリニウス・ピアノフェスティバル、リール・ピアノフェスティバルなどの音楽祭に出演。2024年7～9月に開催された日本ツアーでは全16公演で約2万人を動員した。その他、ウィーン、パリ、シドニー、ソウルなど世界各地でもリサイタルを行い、好評を博した。これまでに、ワルシャワフィル、ブダペスト響、N響、読響など国内外のオーケストラと多数共演。2022年12月には、1stフルアルバム「VIRTUOZO」をリリースし、「レコード芸術」誌にて特選盤に選出。また、「情熱大陸」「題名のない音楽会」「クラシック倶楽部」「日曜日の初耳学」「世界一受けたい授業」などメディアでも多数取り上げられるなど、今もっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。

<https://www.masaya-kamei.com/>

 兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

